すかい

地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん
北信地区経済動向

2019
令和元年
8-20
No.564

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

月例調査レポート

長野市　新田町交差点
長野びんずる

新田町交差点付近は、かつて百貨店や大型店舗が立ち並ぶ、長野一番の繁華街でした。全国的にも珍しかったスクランブル交差点となったのは昭和46年のこと。渋谷スクランブル交差点よりも２年も早い設置でした。
市民祭として「長野びんずる」が初めて開催されたのも昭和46年。踊り手の一番の晴れ舞台は観客が一番集まるこの場所でした。昭和、平成、令和と時代は変わっても、びんずるの日のこの場所の賑やかさは変わりません。来年は記念すべき50回目の祭りです。

■ 長野しんきん 月例調査レポート……2
■ 企業アンケート 人手不足 ②……6
■ インタビュー 変革期の経営ビジョン……8
■ 北信濃 江戸時代の風景 (60) 善光寺の背後…10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます 長野信用金庫について

長野信用金庫

概　況　全産業

生産は2カ月連続の上昇
前年同月比は2カ月ぶりの低下

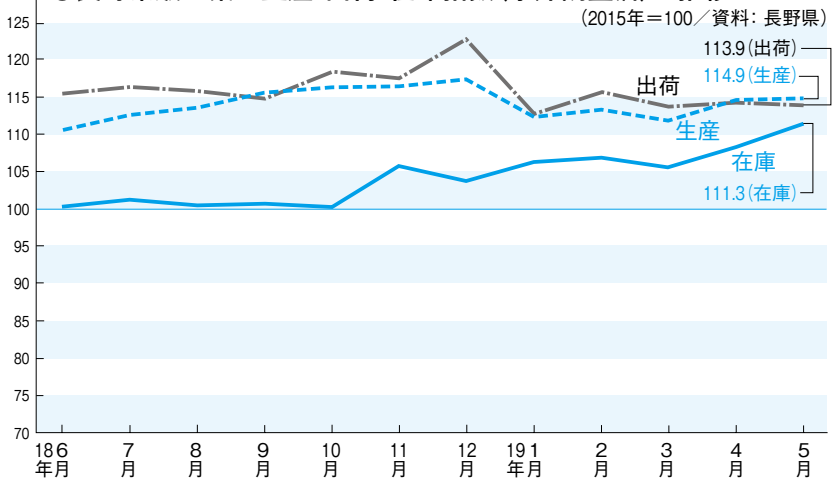
◇令和元年５月の長野県鉱工業指数
（速報：季節調整済指数）

生産は114.9（前月比＋0.2％）で２カ月連続の上昇、出荷は113.9（同▲0.2％）で２カ月ぶりの低下、在庫は111.3（同＋2.9％）で２カ月連続の上昇となりました。

◇前年同月比（原指数）

生産は107.9（前年同月比▲3.5％）で２カ月ぶりの低下、出荷は109.2（同▲6.3％）で５カ月連続の低下、在庫は111.5（同＋10.9％）で３カ月連続の上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数（季節調整済）の推移



［生産］　上昇…はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、輸送機械など10業種
　　低下…情報通信機械、化学、その他など７業種

［出荷］　上昇…はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、輸送機械など８業種
　　低下…情報通信機械、その他、食料品など８業種

［在庫］　上昇…その他、はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイスなど9業種
　　低下…情報通信機械、電気機械、化学など７業種

月例調査　全産業の「売上高」は減少

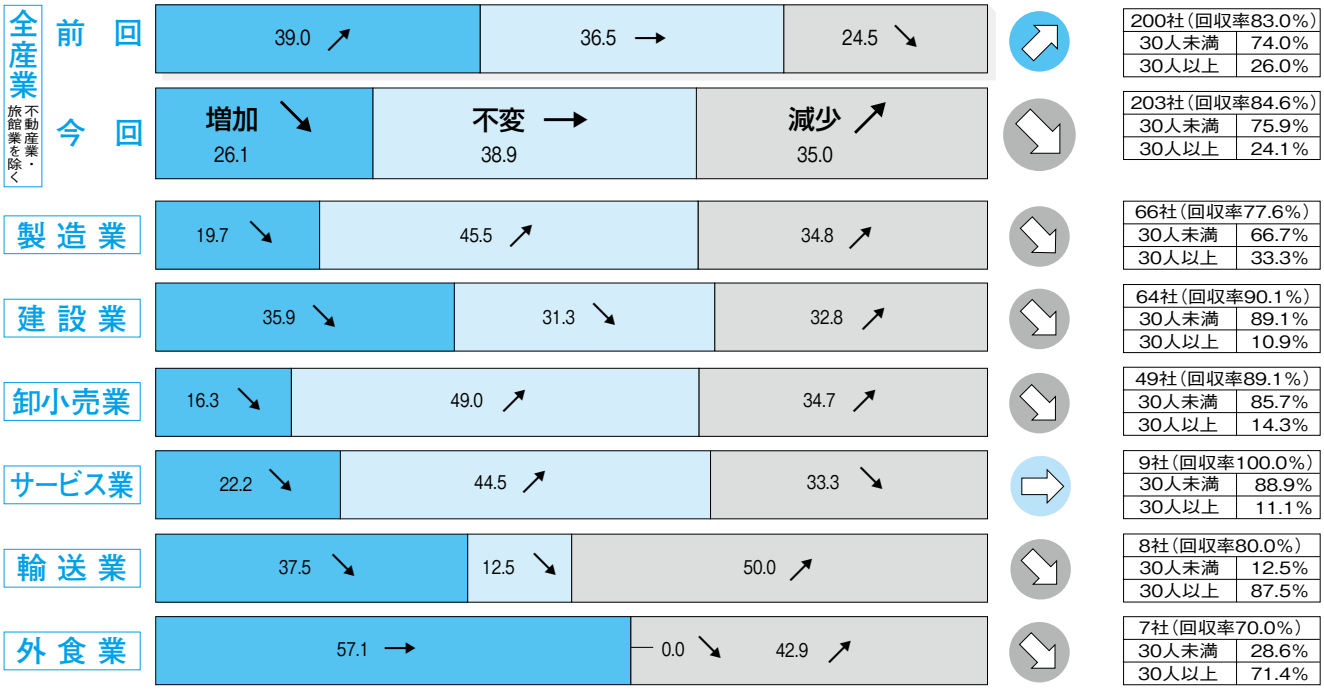
前回調査　2019年5月

◇７月調査による［北信地区の経済状況］

全産業（不動産業・旅館業除く）の**売上高**前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（26％）が13ポイント減少、「減少」割合（35％）が11ポイント増加、「不変」割合（39％）が２ポイント増加、全体としては減少の状況です。

●売上高〈生産高・施工高〉前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比（3ポイント以上の動き）　↗増加　→不変　↘減少　改善　不変　悪化

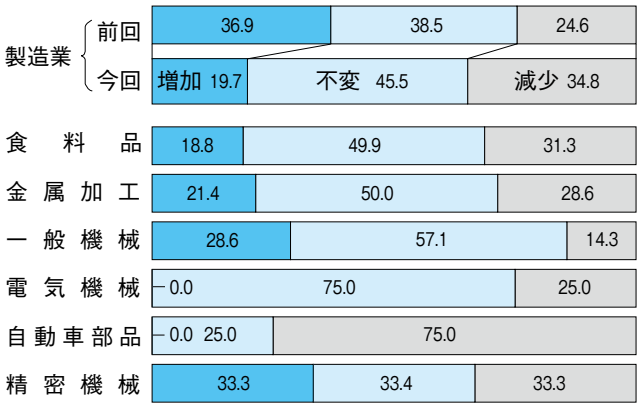


製造業　食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」一般機械が増加するも、全体は減少

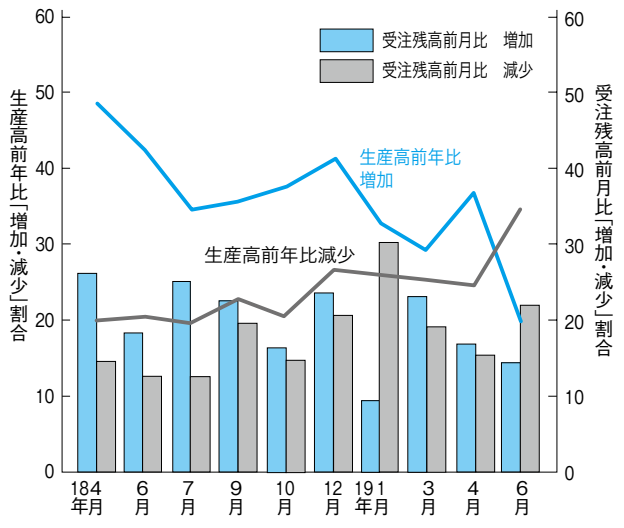
製造業の**生産高**前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（20％）が17ポイント減少、「減少」割合（35％）が10ポイント増加、「不変」割合（46％）が７ポイント増加し、全体としては減少の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合（％）



［業種別］	増　加	…一般機械
	減　少	…食料品・金属加工・電気機械・自動車部品・精密機械
［機械稼働］	（前回比）稼働率	下降
	上昇割合	（25％）→ 24％
	下降割合	（15％）→ 19％
［受注状況］	受注量（前回比）	減少
	増加割合	（17％）→ 14％
	減少割合	（15％）→ 22％
	受注残高	（1.4カ月）→ 1.4カ月
［受注基調］	（前回比）	下降
	上昇割合	（20％）→ 20％
	下降割合	（19％）→ 23％

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移（％／資料：当金庫）



企業からのコメント

★☆中元や夏休みの需要が見込まれるが、生みその製造は頭打ち。味噌加工品の増加が生産量を維持している状況。（味噌製品）

★ＨＡＣＣＰ制度化を目前に、人材と経営体力が不足している。中小企業には重い課題。（農産物加工）

☆季節的な受注が増加。特にきのこ類。（漬物）

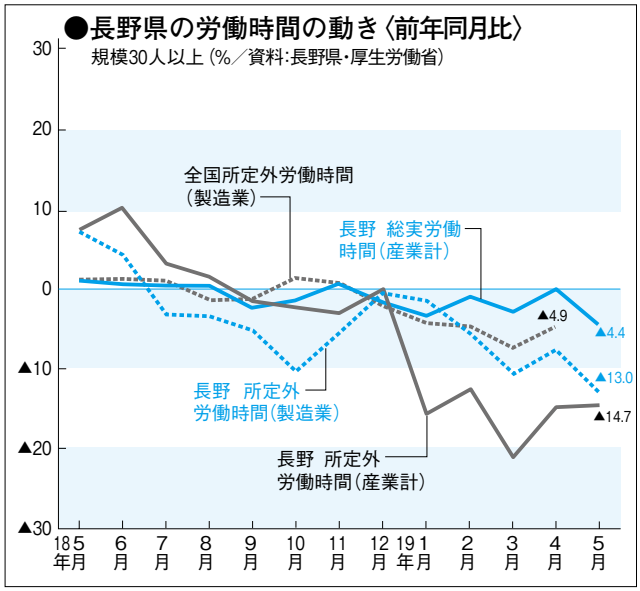
★米中・日韓の経済摩擦や円高懸念で先行き不透明。消費税増税も不安要素である。（医療機器）

★連休明けから未だに受注が増えない。短納期の受注が続いてバタバタ感がある。（シール・ラベル）

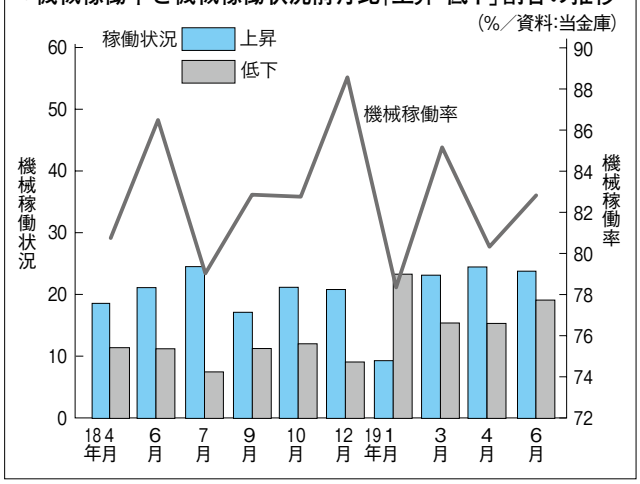
★米中摩擦やファーウェイ問題から９月まで生産中止の会社もある。上向くのは年末以降。（半導体）

☆★原材料の値上がりにより、値上げしたいが、他の要因もあり転嫁は困難。（ダンボール）

●長野県の労働時間の動き〈前年同月比〉



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移（％／資料：当金庫）



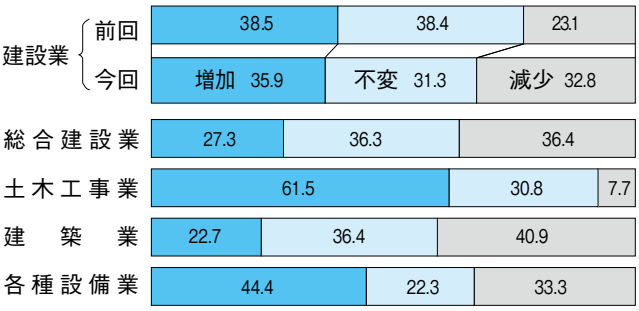
建　設　業　総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」土木工事は増加したが、全体は減少

概　　況

建設業の**施工高**前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（36％）が３ポイント減少、「減少」割合（33％）が10ポイント増加、「不変」割合（31％）が７ポイント減少となり、全体としては減少の状況です。

●施工高前年比「増加・減少」割合（％）

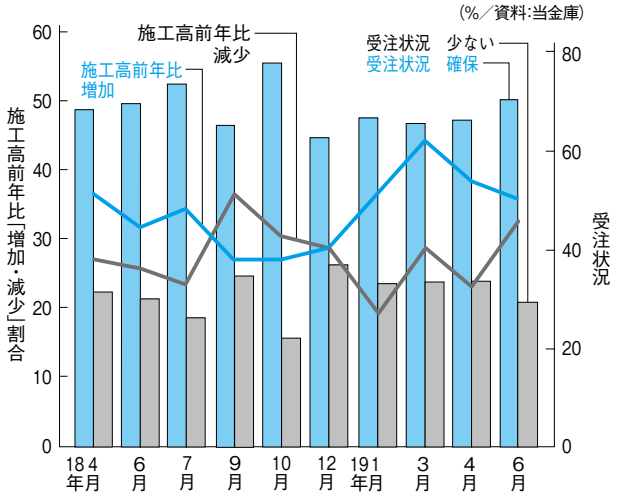


［業 種 別］　増　加…土木工事
　　減　少…総合建設・建築・各種設備

［受注状況］　受注残高（前回比）　改善
　　「多い・適正」割合　（66％）　→ 70％
　　「少ない」割合　　（35％）　→ 30％

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移

（％／資料：当金庫）



企業からのコメント

☆★前期より受注・引き合いはあるが、消費税増税を控え、どう利益を確保するかが課題。

★技術者の人手不足が顕著である。

★設備投資の意欲が低下。補助金を絡めた建設が目立ち、入金までが長期化の様相。　（以上総合建設）

☆リフォーム工事で消費税増税前の駆け込み需要が増加してきている。　（一般建築）

４～６月の公共工事（東日本建設業保証取扱分）

長野県の４～６月の発注合計は、693.7億円（前年同期比▲3.6％）となりました。前年比プラスは「県」の213.7億円（同＋78.2％）で、マイナスは「国」の150.4億円（同▲3.1％）、「市町村」の221.6億円（▲0.7％）、「そのほか」の107.5億円（同▲51.4％）です。

北信地区市町村の発注合計は64.5億円（同▲34.8％）で、うち長野市は27.3億円（同＋67.0％）でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況（2019年6月/2019年4月～6月累計）

（単位＝百万円／資料：東日本建設業保証㈱）

		2019年6月	前年同月比	2019年4月～6月	前年同期比
長野県	国	3,936	▲23.2%	15,038	▲3.1%
	県	3,835	83.8%	21,368	78.2%
	市町村	6,877	7.0%	22,165	▲0.7%
	そのほか	282	▲71.9%	10,747	▲51.4%
	合　計	14,930	2.0%	69,367	▲3.6%
北信	市町村	1,852	38.6%	6,453	▲34.8%
	（内長野市）	525	69.1%	2,734	67.0%

４～6月の新設住宅着工戸数

長野県の４～６月の新設住宅着工戸数は3,709戸（前年同月比＋17.6％）でした。持家が2,090戸（同＋13.2％）、貸家が939戸（同＋4.0％）、分譲が676戸（同＋70.3％）、給与が４戸（同▲42.9％）です。

北信地区の４～６月の新設住宅着工戸数は1,134戸（同＋16.7％）でした。持家が616戸（同＋18.0％）、貸家が297戸（同▲0.7％）、分譲が221戸（同＋46.4％）、給与が０戸（―）です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数（2019年6月/2019年4月～6月累計）　（資料：長野県）

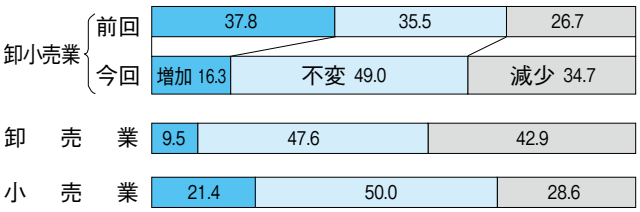
		持　家	貸　家	分　譲	給　与	合　計
北信地区	6月	189戸	136戸	51戸	0戸	376戸
	（内長野市）	117戸	127戸	24戸	0戸	268戸
	前年同月比	15.4%	▲0.7%	25.6%	――	10.7%
	（内長野市）	▲4.9%	▲7.3%	▲14.3%	――	▲6.9%
	4～6月	616戸	297戸	221戸	0戸	1,134戸
	前年同期比	18.0%	▲0.7%	46.4%	――	16.7%
長野県	6月	745戸	312戸	159戸	0戸	1,216戸
	前年同月比	6.9%	▲8.2%	20.5%	▲100.0%	3.9%
	4～6月	2,090戸	939戸	676戸	4戸	3,709戸
	前年同期比	13.2%	4.0%	70.3%	▲42.9%	17.6%

卸小売業　卸売業、小売業

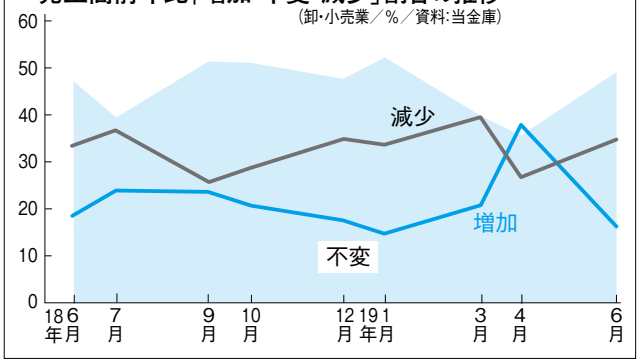
「売上高」卸売・小売ともに減少

卸小売業の**売上高**前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（16％）が22ポイント減少、「減少」割合（35％）が８ポイント増加、「不変」割合（49％）が14ポイント増加し、全体として売上は減少の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合（％）



●売上高前年比「増加・不変・減少」割合の推移



［業 種 別］　減少…卸売業・小売業

６月の消費者物価指数（長野市） 2015年基準＝100

◇総合指数（確報値）……102.4（33カ月連続のプラス）
（前月比▲0.4％、前年同月比＋0.9％）
上昇…「家具・家事用品」「食料品」「教養娯楽」
下落…「住居」「被服及び履物」「交通・通信」

◇生鮮食品を除く総合指数…102.4（30カ月連続のプラス）
（前月比▲0.4％、前年同月比＋0.9％）

企業からのコメント

★５月の10連休以降、消費に勢いがない気がする。
☆消費税増税の問い合わせが多くなっている。
（以上自動車販売・整備）
★梅雨が長引いて気温が上がらず、夏物家電の販売が伸びない。後半に期待する。（家電製品小売）
★個人の消費単価が低下し、仕入値の上昇を売価に転嫁できないものもある。（土産・飲食）
★消費は低調。生活スタイルの変化による和菓子離れをどう食い止めるかが課題。（和菓子小売）

サービス業　サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」サービスは横ばい、輸送・外食は減少

サービス業　売上高前年比「増加」割合は３ポイント減少の22％、「減少」割合は４ポイント減少の33％、「不変」割合は７ポイント増加の45％と、売上は横ばい状況です。

輸送業　売上高前年比「増加」割合は25ポイント増加の38％、「減少」割合は38ポイント増加の50％、「不変」割合は13ポイント減少の13％と、売上は減少の状況です。タクシー、運送ともに減少しています。

外食業　売上高前年比「増加」割合は２ポイント増加の57％、「減少」割合は21ポイント増加の43％、「不変」割合は22ポイント減少の０％と、売上は減少しています。

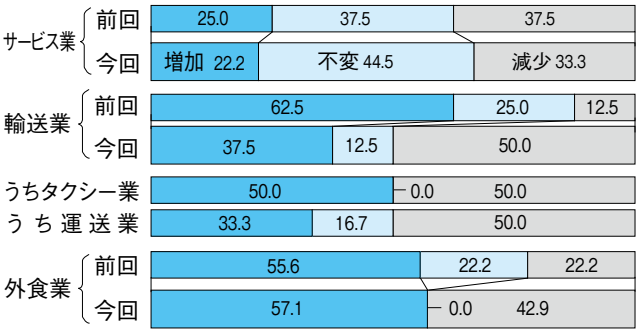
観光（旅館）業　入込数は平均で前月比21ポイントの減少、前年同月比は14ポイント減少で、宿泊利用は伸び悩んでいます。

不動産業　需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は３ポイント増加の33％、「引合いやや増加」は19ポイント減少の11％でした。

企業からのコメント

☆６月はエムウェーブでのイベントが増収に寄与した。ＱＲ決済、マッチングサービス、アプリ配車など、業者の提案説明会が多数開催される。（タクシー）
★建設関連・食品・流通関連ともに荷動きが芳しくない。坂城の製造業の荷動きも鈍化。（トラック運輸）
☆「建築条件なし」の土地は問い合わせが依然として多く、成約となるスピードも早い。（不動産）
★例年多くなる、老人会の入込みが減少傾向。（ホテル）

●売上高前年比「増加・減少」割合（％）



企業アンケート　人手不足 ②　2019年６月調査

1位「キャリアを積んだミドル人材」51%
2位「新卒等の若手社員」18%　3位「パート･臨時職員等」15%

人手不足解消で「求める人材」　５割超えの「一定のキャリアを積んだミドル人材」をトップに、「新卒等の若手社員」と「パート･臨時職員等」が２ケタとなりました。

「人手不足」の対応策　「業務プロセスの改善」「従業員の業務兼任化」「業務の一部外注化」が３割前後となっています。

人手不足解消で「求める人材」

◎30人未満
「キャリアを積んだミドル人材」56%

◎30人以上
「新卒等の若手社員」25%
「年齢･経験等不問」13%

「人手不足と答えた企業に、その解消策として『求める人材』」を聞きました。

５割を超えた「一定のキャリアを積んだミドル人材」(51%)がトップで、２位の「新卒等の若手社員」(18%)と３位の「パート･臨時職員等」(15%)が２ケタとなりました。以下、「年齢･経験等不問」(９%)、「経験豊富なシニア人材」(５%)があがっています。「外国人」は０%でした。

従業員規模で比べると、30人未満は「キャリアを積んだミドル人材」(56%)が30人以上より15ポイント高くなりました。30人以上は「新卒等の若手社員」(25%)が９ポイント、「年齢・経験等不問」(13%)が５ポイント、30人未満より高くなっています。

業種別

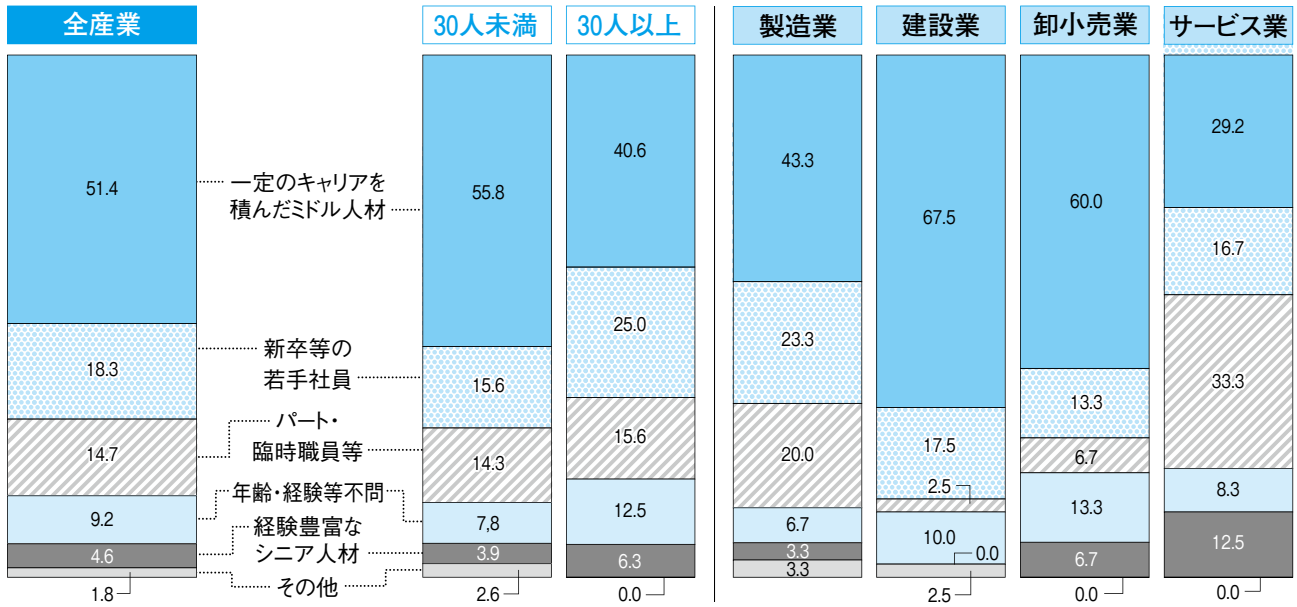
製造「新卒等の若手社員」23%
建設「キャリアを積んだミドル人材」68%
卸小売「年齢･経験等不問」13%
サービス「パート･臨時職員等」33%

製造業　「新卒等の若手社員」(23%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「年齢･経験等不問」(７%)が他業種に比べ最も低く、「経験豊富なシニア人材」(３%)が建設業に次いで低くなっています。

建設業　「キャリアを積んだミドル人材」(68%)が他業種に比べ最も高く、「年齢･経験等不問」(10%)が卸小売業に次いで高くなりました。他方「経験豊富なシニア人材」(０%)と「パート・臨時職員等」(３%)が他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業　「年齢・経験等不問」(13%)が他業種に比べ最も高く、「キャリアを積んだミドル人材」

●人手不足と答えた企業に、その解消策として「求める人材」(%)



(60%)が建設業に次いで高くなりました。他方「新卒等の若手社員」(13%)が他業種に比べ最も低く、「パート・臨時職員等」(7%)が建設業に次いで低くなっています。

サービス業　「経験豊富なシニア人材」(13%)と「パート・臨時職員等」(33%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「キャリアを積んだミドル人材」(29%)が他業種に比べ最も低くなっています。

「人手不足」の対応策

「業務プロセスの改善」31%
「従業員の業務兼任化」30%
「業務の一部外注化」27%

「人手不足の『対応策』として考えられるものは何か」を聞きました。

3割前後に「業務プロセスの改善」(31%)、「従業員の業務兼任化」(30%)、「業務の一部外注化」(27%)が、2割前後に「賃金・処遇等採用条件の改善」(24%)、「IT化・設備導入による省力化」(23%)、「高齢者採用」(19%)があがりました。そのあと、「外国人の採用」(15%)、「女性の採用増」(12%)、「他企業との協働化」(10%)が2ケタとなっています。

従業員規模で比べると、**30人未満**は「従業員の業務兼任化」(33%)が30人以上より8ポイント高くなりました。30人以上は「高齢者採用」(33%)が19ポイント、「賃金・処遇等採用条件の改善」(33%)が13ポイント、「IT化、設備導入による省力化」(43%)が26ポイント、「外国人の採用」(20%)が7ポイント、30人未満より高くなっています。

業種別

製造「**IT化・設備導入による省力化**」34%
建設「**業務の一部外注化**」36%
卸小売「**従業員の業務兼任化**」46%
サービス「**高齢者採用**」32%

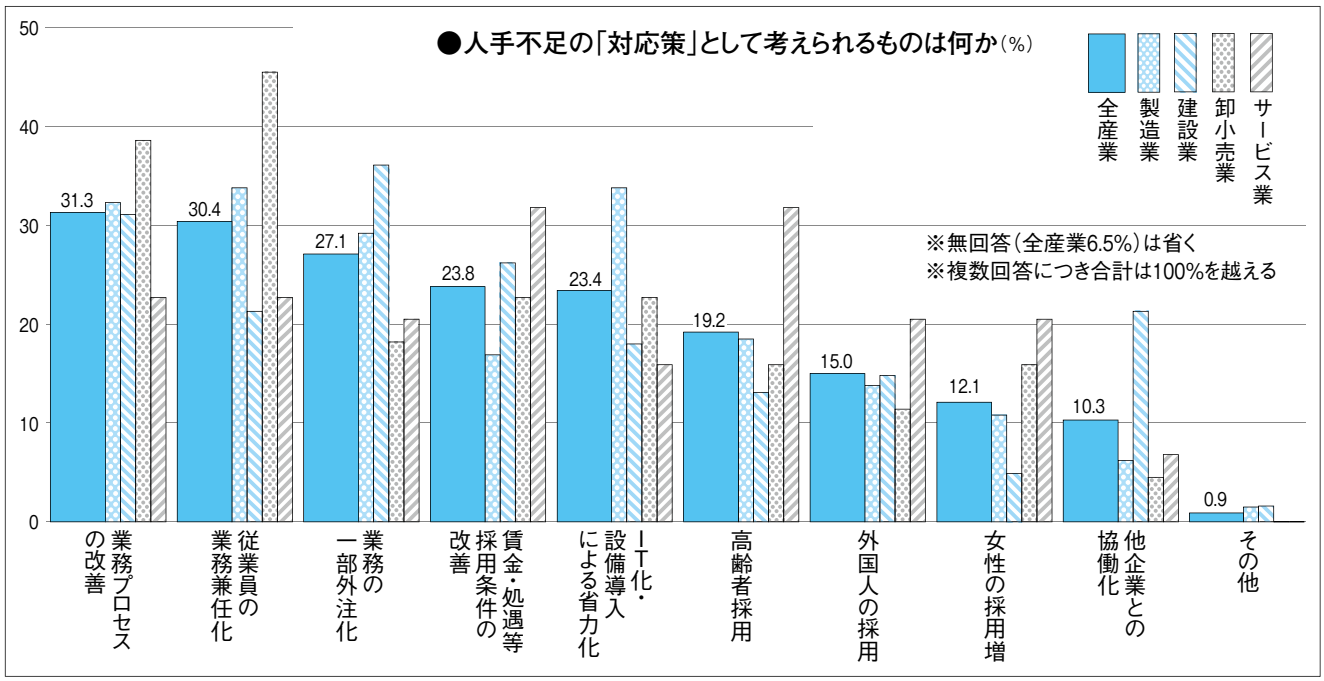
製造業　「IT化・設備導入による省力化」(34%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「賃金・処遇等採用条件の改善」(17%)が他業種に比べ最も低くなっています。

建設業　「業務の一部外注化」(36%)と「他企業との協働化」(21%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「従業員の業務兼任化」(21%)、「高齢者採用」(13%)、「女性の採用増」(5%)が他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業　「従業員の業務兼任化」(46%)と「業務プロセスの改善」(39%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「業務の一部外注化」(18%)、「他企業との協働化」(5%)、「外国人の採用」(11%)が他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業　「高齢者採用」(32%)、「賃金・処遇等採用条件の改善」(32%)、「外国人の採用」(21%)、「女性の採用増」(21%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「業務プロセスの改善」(23%)、「IT化・設備導入による省力化」(16%)が他業種に比べ最も低くなっています。

◇次号は、「人手不足の原因」と「多様な働き方の取り組み」を予定



インタビュー　変革期の経営ビジョン

こだわり続ける
心にひびく味の逸品

株式会社 サンエー（奥信濃 味麓庵）
代表取締役　羽生田輝彦さま

●設立の経緯から伺います…

当社は、漬物や食品の卸小売りを手がける「河東産業」として、昭和40年に中野市に創業しました。昭和46年には㈱サンエーを設立。きのこや山菜を中心に惣菜を製造、全国に先駆けて作った「炊き込みご飯の素」からスタートしました。当時、市場には類似商品はなく、“ご飯の素＝サンエー”といわれるまでに、業界のシェアを獲得してきました。

以後、様々な企業が似たような商品を出しても、当社は、独自の製法と改良を重ねながら現在にいたっています。

社名をカタカナにした理由は、「カタカナ表記の会社は潰れない」と当時の流行であったと聞いています。さらに、漢字表記にすると“三つの栄える”となります。三つとは、取引業者、社員、仕入業者で、「三者みんなで栄えましょう」という意味が込められています。

●社長になられた経緯について…

私は学校を卒業後、産業機械を扱うメーカーに就職。平成14年、31歳のときにサンエーに入社し、平成27年に社長に就任しました。

当社では、入社するとまず物づくりを覚えるために、最初は必ず製造部門に配属されます。私も製造部門で物づくりを覚え、その後営業や総務、経理などにも携わり、様々なノウハウを勉強させて頂きました。

●社長に就任してからの商品開発について…

当社の商品アイテム数は、実に400種類ほどにもなります。

商品は大きく２つのカテゴリーになっており、工場もメインラインが２つで構成されています。以前、得意先の担当者が工場を見た際、「ライン２本で400種ものアイテムを作り出すのは、まさに奇跡に近い」と言われたことがあります。食品製造業でも我々の携わる分野で稼動する機械は、まだまだ人手の補助が多く、今でも作業者の精度がその工場のレベルと言える部分も大きいです。当社はこれまで設備の導入と、それ以上に作業者個々の能力向上にも力を入れてきました。

工場規模に対して、商品アイテム数が多いのは自慢ではありますが、反面、今後人手の問題などを考えれば見直す部分があるとも思っています。

商品開発について、当社ではこれまで「作り込み」に重点を置いてきました。その結果が製品にも良く表れています。以前、私が営業で百貨店担当になった際に、東京の某有名デパートの売り場担当者やバイヤーに、「弊社の商品パッケージデザインがだいぶ古臭く見えるので、リニューアルを考えているのですが」と相談してみますと、「それはやめて下さい！」との意外な答えが返ってきました。その理由を尋ねると、「デザイン的に古さは感じます。しかし、この商品は長年ファンになって頂いているお客様が沢山いらっしゃいます。それが、突然パッケージが変わってしまうと、現場が混乱しますので」と言われました。

このことで、長い歴史の中で培ってきた当社の商品のクオリティーの高さや商品開発の「作り込み」というのは、こういうことなんだなと認識しました。

当社はOEMもやっています。OEMは相手先様のブランドで販売されますから、品質や味について、オリジナル商品以上にどこにも引けをとらない思いで作らなければいけません。消費者から「あそこの商品は美味しくないね」という話になってしまうと、相手先様のブランド自体に傷がつきます。

当社はこうした環境の中で勉強しながら、レベルを上げてきたと思っています。

●小布施のお店について伺います…

小布施のお店は、開店して今年で11年目になります。先代が代表を務めていたときに、立ち上げ

たお店です。

経緯は、“アンテナショップ”ですが、ただ店に品物を置いても中々お客様は呼び込めないだろうということから、「客寄せパンダ」的な栗を使ったものを作ろうとして生まれたのが、“福栗焼き”という商品でした。

この商品が、あるテレビの旅番組で全国放送されて以来、大人気となり、福栗焼き自体がひとり歩きを始めてしまいました。ちょうど10年くらい前のことです。今ではメインが福栗焼きという本末転倒な笑い話になっています。お店では、おやきも販売しています。長野県内には、数多くのおやき屋さんがあります。当社は、“惣菜屋”としてアイディアとノウハウを詰め込んだおやきを販売しています。様々な工夫でほかにはないものを作っています。これも意外と口コミで人気です。

●働き手・働き方改革について…

当社は物づくりメーカーですので、従業員のモチベーションを高める方法の一つとして、お客様からの「良いも悪いも含めた」ご意見を、従業員全員に伝えています。自分たちが作った商品が、どのようにお客様から評価されているのかを知ることは、大切だと感じています。作り手には、中々そこまで見えないところがありますから。

また福利厚生にも、ここ数年かなり力を入れています。経費はかかりますが、従業員の心身が健康な状態から良い商品は生まれると考えています。

●今後の方針について…

時代とともに、当社の商品にはファンがついてきます。長年食べられている方は、それはそれでありがたいのですが、若い世代には今の当社が作っている商品が合うのかどうかを考えたとき、このままでは難しいとも考えています。

会社全景

時代の流れに合わせるように、会社の考え方も商品の味も微妙に変えていかなければなりません。これまでは、子どもから大人まで、幅広い世代で食べられることをコンセプトにして来ましたが、これからは、年齢層をピンポイントで考えなければいけないと感じています。それには情報収集が欠かせません。製造担当の社員も、市場というものを知らなければいけません。積極的に展示会等に連れて行き、肌で今の空気を感じてもらい、その上で新しい商品を開発してもらっています。

おかげさまで、お菓子の分野に広げることも、上手くいっています。何事にも恐れずに、新たな分野にチャレンジしていきたいですね。

食品は、ジャンルが非常に広い分野です。その中で、今はお惣菜をメインにやっていますが、お惣菜だけにとらわれず、またお菓子の分野だけでなく、もっと極端に言えば、我々のノウハウを持って、食品以外で異なる分野に挑戦するチャンスはないのか、いろいろと考えています。

●事業の概要

設　立　1971（昭和46）年
資本金　1,800万円
代　表　羽生田輝彦
従業員　46名（男14・女32）
業　務　惣菜加工製造、山菜加工製造
　　観光土産品製造・卸、産直商品企画・販売
　　OEM商品企画・販売
ＵＲＬ　https://mirokuan-sanei.com/

●沿革

1965（昭和40）年　河東産業として創業
1971（昭和46）年　㈱サンエーを創立
1988（昭和63）年　中野市新井（現在地）に工場を開設
　　同時に本社機能を移転
2000（平成12）年　第二工場を増設。安全管理等の体制を強化
2005（平成17）年　㈳中野労働基準協会・労働衛生大会にて
　　優良賞を受賞
2008（平成20）年　上高井郡小布施町に直営店「小布施味麓庵」を開店
2011（平成23）年　生産体制強化のため製造ラインを増設

北信濃 江戸時代の風景

(60) 善光寺の背後

長野郷土史研究会会長
小林　一郎

善光寺の背後の風景

本年度は、弘化４年(1847)に起こった善光寺地震を記録した『地震後世俗語之種』(国立国会図書館本)の挿絵を用いています。今回は善光寺の背後の風景です。

善光寺地震が起こったのは３月24日の夜ですが、その夜から28日の夜まで、善光寺の北西の空には見慣れない１つの星が明るく輝いていたということです。下の絵はそれを描いた「廿四日大災之夜ヨリ廿八日迄、御本堂ヨリ戌亥ノ方ニ当リ毎夜天燈ヲ拝ス図」というものですが、空の部分はカットしてあります。この絵により、善光寺の背後の風景を見ていきましょう。

川と道

下の「湯福社」(湯福神社)の前を流れているのは湯福川です。普段は水量が少ないのですが、しばしば大洪水を引き起こしてきました。昭和12年(1937)７月の豪雨では、市街地で床下浸水２千戸、床上浸水５百戸もの大被害がありました。

湯福川には「湯福社」の両脇に橋が架かっており、それぞれ道が続いています。左の道は「ヲンタケ」(御嶽)神社前、「シヲサハ」(塩沢)を経て、「アラヤス」(荒安)方面に通じています。これは現在の長野西高校の前を通る道で、善光寺と戸隠を結ぶ戸隠街道です。善光寺参りの旅人の中には、この道を通って戸隠まで足を延ばす人が少なくありませんでした。

「湯福社」の右側の道は、「十二院河原」「箱清水」を経て、「山神」と「大神宮」の間を通り、さらに「大嶺山」と書かれた山中のくぼ地に通じているようです。このくぼ地は花岡平で、ここを通る古道は大峰山と地附山の間を抜けてさらに北に通じてい

廿四日大災之夜ヨリ廿八日迄、御本堂ヨリ戌亥ノ方ニ当リ毎夜天燈ヲ拝ス図
(国立国会図書館蔵『地震後世俗語之種』より)

ます。川中島合戦の時に越後の上杉謙信がこの道を利用したとの伝説があって、現在もこの道に沿って、謙信物見の岩・川中島戦士の首塚などの史跡が点在しています。

湯福神社

湯福神社

武井神社・妻科神社とともに善光寺三鎮守の１つです。諏訪の神の荒御魂（あらみたま）をまつっているので、諏訪大社と同じ梶（かじ）の葉の神紋を用いています。近くにある長野西高校の校章が梶の葉なのも、この神紋に由来しています。

「湯福（ゆぶく）」の語源は風を意味する「息吹（いぶき）」だと考えられています。昔は二百十日（９月１日）に善光寺に参詣し、続いてこの神社に参詣して風の平安を祈る風習がありましたが、それはこの神社が風の神として信仰されていたことの証拠です。

また戸隠街道に面しているので、戸隠の信仰ともかかわってきました。

箱清水と十二院河原

箱清水という地名は、善光寺七清水の１つ、箱清水があることに由来しています。弥生式土器の中に箱清水式土器と呼ばれる赤く塗られた土器がありますが、それは箱清水にある旧長野高等女学校（現長野西高校）から初めて出土したため、そう名付けられたのです。

十二院河原は箱清水の中にある地名です。鎌倉時代の弘長３年（1263）、執権北条時頼は善光寺金堂不断経衆12人と善光寺金堂不断念仏衆12人のために、深田郷（箱清水）の水田を寄進しています。これによる十二院があったといい、それにちなむ地名だと伝えられています。

伊勢社と山神社

「大神宮」は箱清水の産土神の伊勢社で、現在も地元では「大神宮」と通称しています。「山神（やまのかみ）」は山神社で、明治42年に伊勢社に合祀されました。旧地に現在は山の神温泉があります。この鉱泉は弘化元年（1844）に発見されたと伝えられています。

岩井堂観世音

「岩堂」は、謙信物見の岩の下の、岩屋にまつられた岩井堂観世音です。弘法大師が善光寺に参詣した折、ここで修行したとも伝えられています。善光寺七清水の１つ、一盃清水は本来この前にありましたが、現在は水が涸れ、花岡平の霊山寺にある霊泉水がそれだとされています。

塩沢鉱泉と御嶽神社

塩沢鉱泉と御嶽神社は戸隠街道に沿っています。塩沢鉱泉が開かれた年代はよく分かりませんが、江戸時代には善光寺町の人々が利用する郊外の温泉として知られていました。小林一茶が訪れた記録もあります。

御嶽神社は、文政年間（1818～31）に御嶽行者によってまつられたと伝えられています。御嶽講の人々によって守られてきました。

９月号は「善光寺地震で避難した御本尊」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます　長野信用金庫について

就業意識 ② 生活者

●就業希望

「定年まで現在の職場」33%　「とりあえず現在の職場で働く」40%
「機会があれば転職も」12%　「わからない」12%

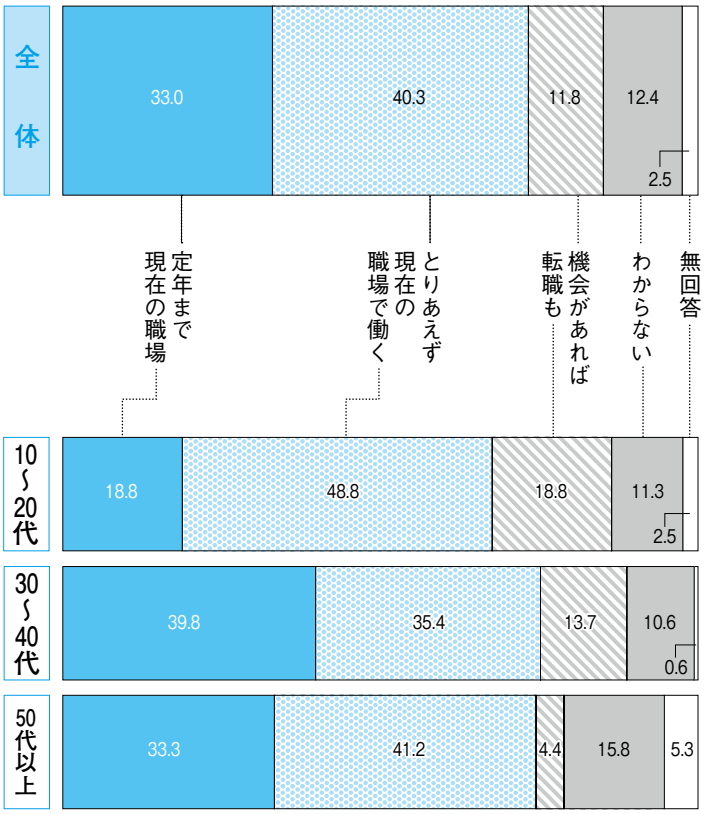
「**現在の勤務先での『就業希望』**」を聞きました。（全体と比較）

「定年まで現在の職場」が33%、「とりあえず現在の職場で働く」が40%、「機会があれば転職も」「わからない」が12%でした。

世代別では、10～20代は「とりあえず現在の職場で」（49%）が９ポイント、「機会があれば転職」（19%）が７ポイント高く、「定年まで現在の職場」（19%）が14ポイント低くなっています。30～40代は「定年まで現在の職場」（40%）が７ポイント高く、「とりあえず現在の職場で」（35%）が５ポイント低くなっています。50代以上は「機会があれば転職」（４%）が７ポイント低くなっています。

男女別では、男性は「定年まで現在の職場」（43%）が10ポイント高く、女性は「とりあえず現在の職場で」（46%）が６ポイント高く、「定年まで現在の職場」（19%）が14ポイント低くなりました。　〈当金庫・2019年６月調査〉

●現在の勤務先での「就業希望」（%）



●みなさまの経営相談のご案内［9月］

（注）上の店名は開催場所、下の（　）内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日		午前	午後	開催日		午前	午後
9月 3日	火	城北支店（若槻支店）	柳原支店（東長野支店）	9月 13日	金	若穂支店	小布施支店（中野支店）
4日	水	屋代支店（稲荷山支店）	戸倉支店（上山田支店・坂城支店）	18日	水	墨坂支店（須坂支店・太子町支店）	飯山支店（山ノ内支店）
6日	金	南支店（七瀬支店）	吉田支店（古里支店）	19日	木	大門町支店（桜枝町支店）	善光寺下支店（権堂支店）
9日	月	篠ノ井支店（川柳支店）	川中島駅前支店（川中島支店）	26日	木	本店営業部	
11日	水	更北支店（松代支店）	伊勢宮支店（石堂支店）	27日	金	本部	
12日	木	大豆島支店（長池支店）		30日	月	本部	

●９月の「しんきん事業相談会」は９月４日㈬です

長野信用金庫　総合企画部
本店　〒380-8686　長野市居町 133-1　TEL 026-228-0221㈹
長野信用金庫　URL http://www.nagano-shinkin.jp/